

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 小林量作 相馬俊雄	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：GIO>  
前期で学習した日常生活活動（ADL）の知識を基に、動作方法、介助方法、介助方法、機器・用具の使い方を体験し習得する。また、実際の事例、模擬事例を通して、ADL問題点の抽出、プログラム立案を行い、学生間で討論することによって、知識の統合を図る。

- <行動目標：SBO>
1. ADLの聴取法を習得する。
  2. 起居動作の指導方法を習得する。
  3. 歩行補助具の使い方を習得する。
  4. 車いす操作法、介助法を習得する。
  5. 姿勢保持・移乗動作介助法を習得する。
  6. 事例を通してADLプログラムを立案する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ADLの聴取	1	実習 小林 補助
2	歩行補助具・車椅子の使い方	3・4	実習・講義 小林 補助
3	歩行補助具・車椅子の使い方	3・4	実習 小林 補助
4	歩行補助具・車椅子の使い方	3・4	実習 小林 補助
5	歩行補助具・車椅子の使い方	3・4	実習 小林 補助
6	歩行補助具・車椅子の使い方	3・4	実習 小林 補助
7	事例検討（疾患別）	6	実習・講義 小林 補助
8	起居動作の指導	2	実習 小林 補助
9	起居動作の指導	2	実習 小林 補助
10	姿勢・ベッドポジショニング	5	実習・講義 小林 補助
11	移乗動作の介助法	5	実習・講義 小林 補助
12	移乗動作の介助法	5	実習・講義 小林 補助
13	事例検討（疾患別）	6	実習・講義 小林 補助
14	まとめ	1~6	講義 小林 補助

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	日常生活活動（動作）—評価と訓練の実際—	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
参考書	新版姿勢と動作—ADLその基礎から応用— 日常生活活動（ADL）	斎藤 宏・他編 橋本 隆・他編	メヂカルフレンド社 神陵文庫	2000年 1998年
その他の資料				

【評価方法】 出席、レポート、実技試験、期末試験、その他	【履修上の留意点】 実技ができる服装になっていること。
---------------------------------	--------------------------------